

**住友重機械建機クレーン(株) 現行生産機におけるクローラクレーンのつり荷走行時のクレーン能力設定状況一覧表**

No.	機種名	静止時 最長ブーム長さ	つり荷走行時のクレーン能力設定(○:STD,△:OPT,×:設定なし)			取扱説明書記述			つり荷走行能力 設定姿勢	荷重検出と 停止方法	つり荷走行能力 M/Lへの切替方法	つり荷走行時の走行速度自動制限と 速度に関する注意事項
			荷重表	最長ブーム長さ	M/L	推奨能力	ブーム長さの制限	取扱い時の注意事項				
1	800HLX	54.5m	◎※1	24.5m	×	定格総荷重表	24.5mまで	原則禁止、やむを得ず実施する場合の取扱方法（別紙参照）	クレーン主ブームつり クレーン補助シーブつり	-	-	走行速度の自動制限機能はなし。 0.4km/h以下で行う。
2	1000HLX	60.0m	◎※1	30.0m	×	定格総荷重表	30mまで					
3	1500HLX	75.0m	◎※1	36.0m	×	定格総荷重表	36mまで					
4	2000HLX	72.0m	◎※1	36.0m	×	定格総荷重表	36mまで					
5	SCX550-3	52.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）	原則禁止、やむを得ず実施する場合の取扱方法（別紙参照）	クレーン主ブームつり クレーン補助シーブつり	-	-	走行速度の自動制限機能はなし。 低速で行う。
6	SCX700-3	54.5m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
7	SCX900-3	60.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
8	SCX1200-3	75.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
9	SCX2000-3	79.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
10	SCX3500-3	72.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
11	6000SLX	108.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
12	SCX900HD-2	60.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
13	SCX1200HD-2	72.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
14	SDX207	17.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					
15	SDX407-2	21.0m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）	クレーン主ブームつり クレーン補助シーブつり	-	-	走行速度の自動制限機能はなし。 低速で行う。	
16	650TLX	30.1m	×	×	×	定格総荷重の1/3以下（2章 安全）	最長の1/2以下（2章 安全）					

※1) JCS 2002-2002 クローラクレーンのつり荷走行時の安定に関する指針をベースに能力設定。

**住友重機械建機クレーン(株) 現行生産機におけるクローラクレーンのつり荷走行時のクレーン能力設定状況一覧表（取り扱い時の注意事項）**

機種名		取扱説明書記述	機種名	
機種名		取り扱い時の注意事項	機種名	
機種名		取り扱い時の注意事項	機種名	
800HLX	2 安全		SCX550-3	2 安全
1000HLX	つり荷走行に関する注意事項		SCX700-3	つり荷走行は禁止
1500HLX	荷をつて走行すると荷振れ・衝撃などに起因する機械の転倒・破損による人身事故につながる危険があります。		SCX900-3	荷をつて走行すると荷振れ・衝撃などに起因する機械の転倒・破損による人身事故につながる危険があります。
2000HLX	荷をつての走行は原則禁止です。 やむを得ずつり荷走行をする必要がある場合は、次の事項を厳守するとともに、不明な点は弊社にお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>つり荷走行時の定格総荷重は、本冊子のつり荷走行定格総荷重表によってください。</li> <li>つり荷走行により、下部走行体の早期摩耗、損傷および寿命低下が発生する場合があります。</li> <li>事前に誘導者を決め、その指示に従って走行してください。</li> <li>路面の平坦な状態の場所で行ってください。軟弱な場所やでこぼこの場所は避けてください。</li> <li>走行路面の状況として突起高さが20 mm 以下の路面でのみ、つり荷走行が可能です。</li> <li>つり荷は低い位置にし、荷振れしないように支持してください。</li> <li>つり荷の巻上げ量を地面から300 mm 以下と地面にできるかぎり近い状態にしてください。</li> <li>つり荷が万が一振れても、巻上下ワイヤロープの揚程の振れで、3°以内となるようにしてください。</li> <li>走行は0.4 km/h 以下の速度で、振動を与えないように行ってください。 低速走行モード、ポンプ吐出量最大、エンジンアイドル回転、走行レバーフルストローク位置で、走行速度は約0.5km/hです。 (上記内容は機種により異なります。)</li> <li>走行はクローラの前進方向で行ってください。</li> <li>走行中は、他の操作(起伏・旋回・巻上げ)をしないでください。</li> <li>つり荷の荷重は、走行中に過負荷にならないようにしてください。</li> <li>ブーム長さは、本機の仕様最長の1/2 以下としてください。</li> <li>つり方向は、前方つり姿勢(クローラの前進方向)にしてください。</li> <li>旋回ロック・旋回ブレーキを掛けてください。</li> <li>電線の下などを通過するときは、十分な間隔をとってください。</li> <li>機械の進行方向を変更する際は、つり荷を一旦地面に降ろしてください。方向変換に必要なだけ巻上げロープを繰り出し、巻上げロープを緩め、機械の負担を無くした後に行ってください。</li> </ul>	SCX1200-3	荷をつての走行はしないでください。他の安全な方法で荷を移動してください。	
			SCX2000-3	やむを得ずつり荷走行をする必要がある場合は、次の事項を厳守するとともに、不明な点は弊社にお問い合わせください。
			SCX3500-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に誘導者を決め、その指示に従って走行してください。</li> </ul>
			6000SLX	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面の平坦な状態の場所で行ってください。軟弱な場所やでこぼこの場所は避けてください。</li> </ul>
			SCX900HD-2	つり荷は低い位置にし、荷振れしないように支持してください。
			SCX1200HD-2	つり荷の巻上げ量を地面から 300 mm 以下と地面にできるかぎり近い状態にしてください。
			SDX207	つり荷が万が一振れても、巻上下ワイヤロープの揚程の振れで、3°以内となるようにしてください。
			SDX407-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行は低速で振動を与えないように行ってください。</li> </ul>
			650TLX	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行はクローラの前進方向で行ってください。</li> <li>走行中は、他の操作(起伏・旋回・巻上げ)をしないでください。</li> <li>つり荷の荷重は、過負荷にならないようにしてください。</li> <li>ブーム長さは、本機の仕様最長の 1/2 以下としてください。</li> <li>走行姿勢のつり上性能は、本機の定格総荷重の 1/3 以下としてください。</li> <li>つり方向は、前方つり姿勢(クローラの前進方向)にしてください。</li> <li>旋回ロック・旋回ブレーキを掛けてください。</li> <li>電線の下などを通過するときは、十分な間隔をとってください。</li> <li>機械を方向変換する前につり荷を一旦地面に降ろしてください。方向変換に必要なだけ巻上げロープを繰り出し、巻上げロープを緩め、機械の負担を無くした後、行ってください。</li> </ul>